

第3次光市地産地消プランの進捗評価について (平成30年度～令和4年度：最終評価)

1 評価の方法

第3次地産地消プラン（以下「プラン」という。）の進捗を図る24の指標については、毎年、前年度からの進捗の度合いについて○又は×で評価していましたが、令和4年度はプランの最終年度であることから、プラン策定時からの進捗とともに、評価基準に基づくA～Dの4段階で指標を評価（※総合計画の進捗評価と同様の手法）することで、プランの最終評価とします。

2 評価の手順

(1) 指標の進捗率の算出

★進捗率＝（近況値－策定時数値）／（目標値－策定時数値）×100

※令和4年度数値を近況値として示すことができない指標については、令和3年度以前の近況値を記載しています。

※この式で正しく進捗率が算出できない指標は、個別に調整します。

（例1）成果指標 1 ▲▲の件数

策定時(H28):50件、近況値(R4):55件、目標値(R4):70件の場合
 $(55件 - 50件) / (70件 - 50件) \times 100 = 25.0\%$ (R4進捗率)

（例2）成果指標 ◆◆の割合

策定時(H28):15%、近況値(R4):12%、目標値(R4):30%の場合
 $(12\% - 15\%) / (30\% - 15\%) \times 100 = \blacktriangle 20.0\%$ (R4進捗率)

(2) 指標の評価

上記（1）で算出した進捗率を評価基準に照らし合わせ、A～Dの4段階で指標を評価します。

評 価 基 準	評価
目標値【令和4年度】以上の進捗率	A
策定時の数値を上回り、目標値【令和4年度】未満の進捗率	B
策定時の数値と同数値（±0.0%）	C
策定時の数値未満（マイナス%）	D
令和4年度の数値を近況値として示すことができない指標	—

2 指標の進捗評価

(1) 生 産

指 標 名	策定時 【平成 28 年度】	近況値 【令和 4 年度】	目標値 【令和 4 年度】	進捗率	評価
①農業の合計生産量	329 百万円 【平成 26 年度】	201 百万円 【令和 2 年度】	420 百万円	▲140.7% 【令和 2 年度】	—
②林業の合計生産量	34 百万円 【平成 26 年度】	20 百万円 【令和 2 年度】	34 百万円	▲58.8%※ 【令和 2 年度】	—
③漁業の合計生産量	51 百万円 【平成 26 年度】	33 百万円 【令和 2 年度】	66 百万円	▲120.0% 【令和 2 年度】	—
④新規農業就業者の数 (累計)	9 人	22 人	17 人	162.5%	A
⑤新規漁業就業者の数 (累計)	6 人	7 人	10 人	25.0%	B
⑥認定農業者数 (累計)	17 人	18 人	22 人	20.0%	B
⑦農業法人数 (累計)	6 団体	6 団体	8 団体	0.0%	C
⑧エコファーマーの数 (累計)	13 人	9 人	18 人	▲80.0%	D
⑨多面的機能支払交付金事業に取り組む活動組織の数	6 組織	5 組織	10 組織	▲25.0%	D
⑩水産多面的機能発揮対策に取り組む活動組織の数	1 組織	1 組織	1 組織	100.0%※	A
⑪耕作放棄地の面積 (農用地区域内の荒廃農地)	44.4ha	59.3ha	44.0ha	▲3,725.0%	D
⑫鳥獣による農業被害額	10,770 千円	7,349 千円	10,630 千円	2,443.6%	A

(2) 加工・6次産業化

指 標 名	策定時 【平成 28 年度】	近況値 【令和 4 年度】	目標値 【令和 4 年度】	進捗率	評価
⑬市制度活用による新商品等の開発支援件数	0 件	15 件	25 件	60.0%	B
⑭6次産業化ブランド等の登録・認証商品数	16 品	22 件	50 品	17.6%	B

(3) 流通・販売

指 標 名	策定時 【平成 28 年度】	近況値 【令和 4 年度】	目標値 【令和 4 年度】	進捗率	評価
⑮地元の食材を購入している人の割合	81.1%	75.0%	95.0%	▲43.9%	D
⑯地元産農林水産物が購入可能な量販店（販売協力店）の店舗数	6 店舗	13 店舗	8 店舗	350.0%	A
⑰地産地消推進店等の認証店舗数	3 店舗	4 店舗	25 店舗	4.5%	B
⑱学校給食への地元産農林水産物の使用率（品目ベース）	22.8%	16.7%	30.0%	▲84.7%	D

(4) 消 費

指 標 名	策定時 【平成 28 年度】	近況値 【令和 4 年度】	目標値 【令和 4 年度】	進捗率	評価
⑲農業体験や加工品づくり・調理体験など生産者と消費者の交流機会への参加者数	453 人	385 人	550 人	▲70.1%	D
⑳地元産水産物の市内消費率	49.2%	16.7%	50.0%	▲4,062.5%	D
㉑里の厨直売所の年間利用者数	22 万 3 千人	19 万 2 千人	24 万人	▲182.4%	D
㉒地産地消の普及・啓発イベントの開催数	7 回	4 回	12 回	▲60.0%	D
㉓食育に関心のある市民の割合	77.9%	70.1%	90.0%	▲64.5%	D
㉔消費拡大に向けた情報発信回数	23 回	67 回	40 回	258.8%	A

3 取組の評価・検証

(1) 生 産

新規農業就業者の数及び鳥獣による農業被害額の軽減については目標値を達成しましたが、耕作放棄地の面積の軽減等に引き続き、努めていく必要があります。

(2) 加工・6次産業化

いずれも策定時の数値を上回りましたが、目標値未達の進捗率であったことから引き続き、6次産業化への取組支援に努めていく必要があります。

(3) 流通・販売

地元産農林水産物を購入できる店舗数は目標値を達成しましたが、地元食材を購入する人の割合等は下回ったことから引き続き、地元食材の流通・販売等に努めていく必要があります。

(4) 消 費

消費拡大に向けた情報発信回数は目標値を大きく上回ったものの、その他の指標は目標値を下回ったことから、消費拡大に向けた取組を更に進めていく必要があります。